

麻布中学

- 一 a 積 b 適当 c 不思議

二 朝倉くんは花を活けているときが一番凛々しく、魅力的だということ。

三 姉たちにとっての「私」は常に幼くて可愛い妹で、いつも姉たちが「私」の世話を焼き、一方的に甘やかすという関係。

四 朝倉くんに憧れ、これまでの自分の理想を超えた花を活けたいと本気で考えた結果、あえて何も考えずに活けようと思いつき、基本の型を無視してしまったから。

五 型通りに活けるだけでは誰が活けても同じだと考え、型通りやるのが苦手な自分は花では自分らしさを発揮できないと思ったから。

六 ウ

七 型とは多くの先人たちが考え尽くした結果できたものであり、それを徹底して練習し、先人たちの知恵を自分自身でも使えるようにするということ。

八 みんなが気軽につきあえる愛らしい存在である一方で、強い個性も自己主張もない存在。

九 エ

①いつまでも周囲に愛され、甘える側の存在でいれればいいと思っていたが、今はもっと自分に厳しくして、精神的に成長したいと考えるようになった。

②自分らしい花を活けたくても、何が自分らしさなのかわからない今は先人の知恵が、つまった型を徹底して練習し、いつの日か自分にしか活けられない魅力的な花を活けて、朝倉くんを驚かせるとともに、本当の「私」の魅力に気づいてほしいということ。

③魅力的な姉たちにはかなわないと考えていたが、姉たちに負けない個性をみがいて、対等な関係になりたいと思っている。